

陽七套第、十一号

入 柴山篇

清輝艦本日午前免四時甲分大
形柴之、柴相成、此段、以、
出、也

根原、突、進、船、之、長

九年十月三日、海軍、根原、進、船、之、長

海軍、大、捕、川、部、延、長、殿

往入第四百四十一号

百十七

0790

一
村
三
年
若
舟
耳

0791

陽七套第八十四号

船渠出入御届

清輝艦本日正午第十二時大船渠ヨリ出渠右跡江第二丁
卯艦入渠相成申候此段御届申出候也

横須賀造船所長

海軍権大丞遠武秀行代理

九年十一月六日

海軍中匠司渡辺竹三

海軍大輔川村純義殿

往入第四百九十二号

百十八

出川

0792

0793

0793

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

先般當艦螺旋折連損候ニ付御届候末令般トツク江架
セ相改候處先般御届申置候通り壹枚ハ根元ヨリ折連壹
枚ハ羽根江貳ヶ所鎖之卷キ候跡疵付キ自然相曲リ根元
三寸位之處ニ割連疵ヲ生シ向後保存難相成見込ニ付貳
枚共取替申候間此段為念再應御届仕候也

九年十月五日

清輝艦々長

海軍中佐井上良馨

東海鎮守府司令長官

海軍少將伊東祐磨殿

螺旋羽根取替之義清輝艦ヨリ前書之通り届出候間為御
参考此旨申添候也

往入第五百四十号

百十九

海軍省

0794

九年十一月十日

東海鎮守府司令長官

海軍少將伊東祐磨

海軍大輔川村純義殿

東一第貳千五百廿号

0795

川村海軍大輔殿始メ點檢相受度義ニ付伺

當艦艇裝替モ追々落成ニ差向不日横濱田艦可致候ニ付

テハ其砌川村大輔殿始メ御雇英國海軍機関士等乗組點

檢相受度奉存候ニ付何分御指令相成度ニ成就田艦之日

限ハ追テ御届可仕候得共支迄之内御吟味之上御達相成

度此段伺出候也

清輝艦長

九年十一月十五日

海軍中佐井上良馨

東海鎮守府司令長官

海軍少將伊東祐磨殿

清輝艦修復追々落成ニ付御点檢相成度段前書之通り申

往入第百二十四号

百二十

0796

出候間日限御取極御達相成度此段申副候也

東海鎮守府司令長官

九年十一月十六日 海軍少將伊東祐磨

海軍大輔川村純義殿

横濱回艦之日限可届出其節兵学寮御雇教師サツ

トシ氏同行見分可致事

十一月廿日

東二第千八百五十三号

0797

清茅二百十号

試運轉濟御届且點檢日限御取極申出

當艦儀本日試運轉致シ候所機械等十分ニ合且ク有之候
ニ付何時横濱、致廻艦候トモ差支無之候右ニ付兼テ申
出置候通リ點檢之日限且點火等之都合モ有之候ニ付刻
限等モ御取極ノ上御指令相成度尤キボジ一氏ヨリ點
檢ノ二十四時間前報知致シ吳候様示談有之候ニ付前以
御沙汰相成度此段御届旁申出候也

清輝艦々長

十一月廿九日

海軍中佐井上良馨

東海鎮守府司令長官

海軍少將伊東祐磨殿

往入茅八百十八号

百三十一

0798

清冠艦ヨリ前書之通申出候處過日横濱四艦日限可申出
首御達有之候ニ付同艦ハモ相違置候最早試運轉モ相濟
候間不日御出張御點檢相成度尤未ル五日火曜日ニ候得
者同艦ニモ別テ都合宜趣艦長申出候条御差問無之候ハ
其通御取極相成度何分至急御指令有之度候也

東海鎮守府司令長官

九年十二月一日 海軍少將伊東祐磨

海軍少將 海軍少將中牟田倉之助殿

明後六日水曜日午前八時十五分汽車ヨリ出張同日
午後第一時ヨリ試運轉ヲ始ム可シ

但シ同日午前九時迄ニ小蒸氣一艘横濱ハ可相廻
首造船所ハ懸達致シ置ク可キ

十二月四日

百二十二

好
尾
書

0800

ニヨウエ ムイカ セイキカン テンケント シテシツキ
ヨウス ムエニ トウギツエゼン クギマテコギヨウキ
セン イツツツ ヨコハマエ マワスヘシ

明治九年十二月四日

海軍省

造船所

百三十三

海軍省

0802

海軍省

造船所

海軍省

シヨゴ ムイカ コヂヨウキセシ マカシカタノギ
シヨウチシタ

0803